

私たちの町内会 vol.32

明石台第三町内会

会員数 535世帯

会長
勝又 奎一さん



明石台第三町内会は、平成8年4月に当時の明石台町内会から分離・発足し、昨年20周年を迎えました。

『明るく、楽しく、元気に』をモットーに、町内清掃や敬老会、通年のゆとりすとサロモンナミの活動、体育祭、バレーボール大会や防災訓練など多彩に活動しています。会員の皆さんはともにも紳士的で積極的に協力いただいています。

運営の際の特徴は、役員・班長が原則一年交代となっていることです。ノウハウの引継ぎには困難な面も多々あるのですが、運営に対して会員全員が等しく責任を持つということであり、むしろ良いことと考えています。それぞれのノウハウは毎年蓄積改訂される実行計画書によって引き継がれます。また会員から寄せられる課題の解決にも力を入れ、皆さんのご意向を反映する営みを大切にしています。

行事の中で最大のイベントが、小さい頃の良き思い出づくりを目指した手作りの『秋祭り』です。震災翌年から開催ということもあり、復興への願いを込めた気仙沼産秋刀魚の炭火焼きと芋煮を盛り込んだ各『出店』は、毎年約1000名の方々が来場されるなど好評をいただいています。

当町内会も発足して22年目、当時家を建てられた方々は定年を迎えるなど、今後は次第に高齢化率が上がります。高齢者のみの世帯や一人世帯が増加していくことを想定した時、重要なことは共助であり、その原点は会員個々のつながりです。「今できること」それは会員の趣味・特技などを通してたくさんの方々のネットワークを作り、それに参加いただくことだと考えています。